**「2019年度　課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト」**

**公募提案書**

* 必要に応じて、パワーポイント形式の資料（A4サイズ10枚以下）を添付することも可能です。ただし、その場合はパワーポイント資料のどのページが以下のどの項目に該当するか明記してください。

**１．実証プロジェクトの概要**

|  |
| --- |
| （１）実証プロジェクト名 |
| （提案する実証プロジェクトの名称を30字以内で記入してください。） |
| （２）提案の概要 |
| （提案内容の概要を200字以内で記入してください。） |
| （３）活用するデータの種類 |
| （活用する予定のデータをそれぞれ200字以内で記入してください。）  ＜衛星データ＞  ＜地上データ＞ |

**２．実証プロジェクトの提案**

|  |
| --- |
| （１）実証プロジェクトの実施背景と目的 |
| （実証プロジェクトの実施背景や課題認識、目的を400字以内で記入してください。） |
| （２）実証プロジェクトの分野 |
| （農林水産業、自動運転、 環境、防災、インフラ維持管理、交通、物流、金融・保険、スポーツ、国土強靭化、その他（具体的にご説明ください。）） |
| （３）期待される成果 |
| （実証プロジェクトの事業実施によりどのような成果が期待できるのか500字以内で記入してください。） |
| （４）中間報告会・最終報告会における到達点見込み（目標）および評価指標 |
| （中間報告会（11月～12月）および最終報告会（3月）における到達点見込み（目標）を記入してください。可能な限り定量的もしくは定性的な指標を記入してください。） |

**３．実証プロジェクトのポイント**

|  |
| --- |
| （１）実証チームの構成 |
| （公募要領の「Ⅳ．２．審査基準」にある加点項目を参考に500字以内で記入してください。） |
| （２）イノベーション |
| （公募要領の「Ⅳ．２．審査基準」にある加点項目を参考に500字以内で記入してください。） |
| （３）事業化を見据えた取組 |
| （公募要領の「Ⅳ．２．審査基準」にある加点項目を参考に500字以内で記入してください。） |
| （４）地方創生／公共利用 |
| （公募要領の「Ⅳ．２．審査基準」にある加点項目を参考に500字以内で記入してください。） |

**４．実証プロジェクトの事業計画**

|  |
| --- |
| （１）実証プロジェクトの事業計画 |
| （実証プロジェクトの具体的な取組内容（実施項目、実施方法等）を800字以内で記入してください。） |
| （２）実証プロジェクトのスケジュール |
| （実証プロジェクトの実施スケジュールを200字以内で記入してください。） |

**５．実証プロジェクトの実施体制及び役割**

|  |  |
| --- | --- |
| *※　図等を用いて実施体制を分かりやすく記入すること。また、それぞれの役割ごとに想定している人員についても記入すること。*  *※　提案者のみならず、委託事業の実施に関わる者については本様式に役割、責任を明記すること。*  （例）  ○○市（代表者）  委託事業全般の管理・統括、〇〇計画の策定及び〇〇をするための○○システムの構築  △△大学  実証結果の検証方法の検討及び実証結果を踏まえた効果の分析  ××株式会社  ○○に関するデータの提供及び実証事業に係る住民説明会の主催 | |
| 組織名称 | 役割及び責任  *※　上記組織図に対応した主体別に役割を明確に記入すること。* |
| ○○市（代表者） | ・○○○○計画の策定  ・～～情報を取得・分析するための△△システムの構築  ・事業計画の立案、報告書の取りまとめを始めとする事業全般の管理・統括 |
| △△大学 | ・〇〇〇の検証方法の検討  ・～～～～効果の検証  ・△△△の設計・製作 |
| ××株式会社 | ・〇〇データ提供  ・～～～～効果の検証のための住民アンケートの実施  ・ホームページによる広報、××フォーラム開催による△△△△の普及活動 |

※適宜、記載枠を追加し、実証チームを構成する企業・団体名をすべて記入してください。

**６．特記事項**

|  |
| --- |
| （本事業に関して、過去に公的資金（補助金、委託費、無償賃借等）の獲得実績がある場合、記入してください。その他、実施にあたり特筆すべき事項があれば記入してください。） |